

□講義科目（専門科目）

科目名	スポーツ社会学特論	2 単位
担当者	藤田紀昭	
テーマ	スポーツ界の様々な事象をスポーツ社会学の理論を手掛かりに読み解く	
科目のねらい	<p><キーワード> ① プレイ論 ② スポーツ文化論 ③ スポーツ近代化論 ④ 共生社会論 ⑤ スポーツ指導者論 ⑥ オリンピズム</p> <p><内容の要約> 本授業ではスポーツ界に生じている様々な事象をスポーツ社会学分野において蓄積されてきた各種理論を用いて整理し、その要因を明らかにし、課題解決に向けての手がかりを得られるようにする。また、個人が関心のあるテーマについて社会学的に考察し、発表を行う。</p> <p><学習目標> 1. スポーツ社会学で用いられている各種理論を理解し、説明することができる。 2. スポーツ界で生じている事象について適切な理論を用いて説明、発表することができる</p>	
授業の進め方	第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 スポーツ文化論とプレイ論 第 3 回 スポーツ近代化論と大相撲 第 4 回 共生社会論と障害者スポーツ 第 5 回 子どもの遊びとスポーツ 第 6 回 スポーツ指導者論と体罰問題 第 7 回 スポーツ指導者論:事例研究 第 8 回 オリンピズムと現代のオリンピック 第 9 回 スポーツの歴史とルールの変化 論文講読の準備 第 10 回 スポーツ社会学論文講読① 第 11 回 スポーツ社会学論文講読② 第 12 回 スポーツにおける諸課題の背景と要因の探求① 第 13 回 スポーツにおける諸課題の背景と要因の探求② 第 14 回 スポーツにおける諸課題の背景と要因および解決策の発表と議論① 第 15 回 スポーツにおける諸課題の背景と要因および解決策の発表と議論②	
事前学習の内容 学習上の注意	<p><事前> 授業の終了時に次回の内容を説明するので、その内容に沿って予習をする。(1時間) <事後> 授業内容の復習をする。(1時間)</p>	
本科目の 関連科目	スポーツ史特論、スポーツ人類学特論、スポーツ哲学特論、スポーツ共生社会特論	
テキスト	特に指定しない	
参考文献	井上俊・菊幸一編、2012、『よくわかるスポーツ文化論』ミネルヴァ書房 佐伯年詩雄監修・菊幸一、仲澤真編集、2006、『スポーツプロモーション論』 明和出版 スポーツ社会学会、2013『21世紀のスポーツ社会学』創文企画	
成績評価方法 と基準	期末試験 50% 授業内レポート、課題 50% 100点満点で60点以上を合格とする	